

小学校だより

2018年
2学期号
2018.12.21

Vol.
140

INTERVIEW

校長先生が
水迫先生へ
質問してみました

相談室からこんにちは！

校長 森 和久



臨床心理士
水迫 有美子先生

本校の子どもたちの心の健康のために、スクールカウンセラーとして臨床心理

士の水迫有美子先生に来て頂いています。今回は、水迫先生にお話を伺いました。

Q 梶小の子どもの印象を教えてください。

水迫先生

素直で人懐こく、とても魅力的な子どもたちだと思います。また、この場を借りてぜひお伝えしたいのですが、相談室を利用する子どもたちの多くは、クラスメイトに支えられていると実感しています。梶小のみなさんにはいつも感謝の気持ちでいっぱいです。

特集

語学研修をふりかえって

委員会報告

P.4

学期の行事

P.5

学年トピックス

P.6
P.17

PTA

P.18

P.19

二学期の思い出

P.20

P.2
P.3

Q どうしてカウンセラーになられたのですか？

水迫先生

大学で心理学を学び、興味を持ち、大学院に進学し、臨床心理士になりました。「話を聞いて、一緒に考えてくれる人」を私も必要としていたからだと思っています。

Q 梶小ではどんな活動をしていますか？

水迫先生

水曜日に、児童・保護者の相談活動をしています。それ以外にも、



▲リラックスルーム

長い放課に折り紙教室を行ったり、相談室の前にリラックスルームを設けたりして、お子さんがリラックスできる時間や空間を提供しています。みなさんの心の健康保持・増進を目指して活動しています。

Q 心の健康を保つにはどうしたらいいですか？

水迫先生

心の健康を保つことは簡単なことではないのですが、心の健康は何よりも大切なことと身に染みて感じています。梶小には、日々頑張っているお子さんがたくさんいるので、少し休憩する心の余裕をもつこと、またはもたせるよう努力することではないかと思っています。

Q 最後に子どもと保護者にメッセージをお願いします。

水迫先生

気になっっていること、困っていることなどありましたら、どうぞ気軽に相談室をご利用ください。お待ちしております。



▲折り紙教室